



こんにちは 府会議員

さこ祐仁 活動報告

2008年7月27日発行 No.63
千本出水下る十四軒町392
さこ祐仁事務所
Tel.075-813-2117

雇用、社会保障、農業・食糧…どの分野でも、日本共産党の綱領と情勢が響きあう、劇的な進展が起こっています。8月下旬の臨時国会に向けて大きく署名を集め、衆議院でも後期高齢者医療制度廃止法案を可決させましょう！

父子家庭にも児童扶養手当を！

配偶者との病死や離婚など様々な背景で、母子・父子家庭などひとり親家庭が私の周りでも増えています。とくに母子家庭に比べ父子家庭のほうが制度的にも不十分だなぁと思う。ある父子家庭の保護者が、「なんとか援助してほしい」と区役所へ相談に行っても、なんらの援助もないという現実に「がっかりした」という声が今の実態です。

京都府の行った「平成17年度京都府母子・父子世帯実態調査結果」によると、勤労による収入の状況では、母子家庭は300万円未満の世帯が86%で、父子家庭は300万円未満が41.6%となっています。父子家庭の保護者の要求は「母子家庭と同じように経済援助をやってほしい」という声が多数を占めています。年収365万円未満の母子家庭には、所得に応じて最高で月約4万2千円が支給されます。しかし父子家庭にはありません。

父子家庭の父親も、子育てに苦労をしているのは母子家庭と変わりはありません。しかも子育てのために「残業・休日出勤なし」「転勤なし」という条件で仕事を探せば、パートやアルバイトなど低賃金の仕事に就かざるを得ないのが実態です。「母子家庭に支給されている児童扶養手当を、父子家庭にも支給してほしい」という願いは切実となっています。

先の「実態調査結果」報告書でも明らかになっています。保護者自身の困りごとの欄を見ていると、母子家庭、父子家庭ともに1位が家計で、2位が仕事です。しかし、京都府は母子家庭には自立援助、父子家庭には家事援助が先だという考え方です。ひとり親家庭への支援は細やかさが重要です。各自治体でも独自の援助を行なっているところもあります。京都府の父

子家庭への援助も母子家庭同様に行なわれるようにし「苦労あるけど子育てが楽しい」といえる制度を作るために頑張りたいと思っています。



写真(上)北上平和行進でのひとコマ。くらの市会議員らと。

平和行進！暑さを吹き飛ばす

広島、長崎に原爆が落とされてから64周年の夏を迎えました。核兵器のない世界を求めて7月12日に、平和行進が取り組まれて50年が経ちました。私も、市民のみならずと一緒に関山から市役



所まで歩きました。夏日を想起させるかんかん照りで、さしいれの飲み物が大変ありがたかったです。平和の訴えも「なくそう、なくそう核兵器。守ろう、いかそう、平和憲法！」とよくわかり、沿道の方が、なんだろうと振り返りながら、「ああ、そうか」と納得して手を振ってく

れました。この日は、市内各地から市役所へと暑さも吹っ飛ばしながら、多くの平和行進の集団がみやこ大路を網の目で歩きました。久しぶりの筋肉痛です。

「荒神口あんしん・あんぜんステーション」が開設

7月18日に春日学区の元荒神口交番所が、地元の「荒神口あんしん・あんぜんステーション」として開設されました。地域住民の自主防災の取組により地域、特に、子どもの安全、安心をもたらし見守りたいの活動拠点としての役割を果たすこと、また地元の方が気軽に訪れて語らいつづけるふれあいの場としての役割を果たし、他の学区の範



写真(右)丹後へ原油高の影響調査に行ってきた。漁船への影響は非常に深刻です。

◎お知らせ
第3回 戦没者追悼in盛林時
平和の鐘をつく会
主催：待賢学区 憲法9条の会
日時：8月15日(金) 正午～
場所：盛林寺3階
(黒門通り下立売下がる)